

マイクロオーシャンコラーゲン

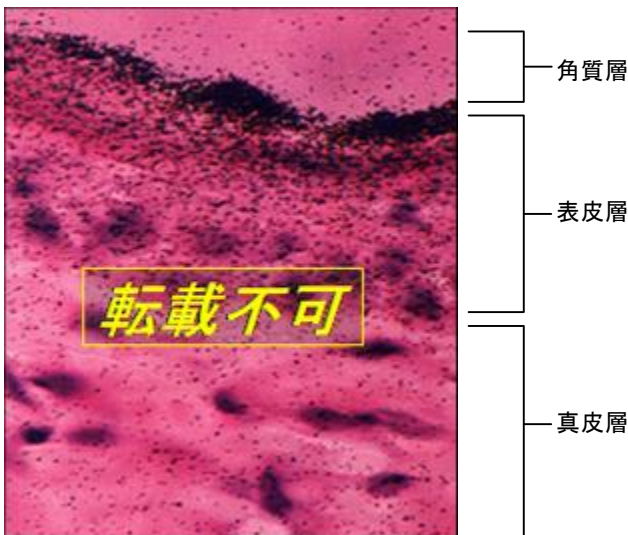
マイクロオーシャンコラーゲンは、最新のテクノロジーにより、コラーゲンの分子量を 1/1000(約 280)にまで微細化。より深く、確実に肌に届けることができるようになりました。また、日本産のサケを原料とすることで、高い安全性を確保。安心感を求める消費者ニーズにも対応できる製品です。

微細化したコラーゲン

マイクロオーシャンコラーゲンは、コラーゲンの分子量を約280まで微細化することで、アミノ酸の基本単位「Gly-X-Y」が肌の真皮層まで浸透します。その結果、繊維芽細胞のコラーゲン産生能が約4倍、ヒアルロン酸の産生能が約1.7倍に増加することが確認されています*。
(*in vitro 試験 自社データ)

塗布後、8時間後の皮膚の断面

真皮層まで、マイクロコラーゲンが浸透しています。



* 小さな黒い粒がGly-X-Y

■取扱品

マイクロオーシャン
コラーゲン溶液
・1.0% Aタイプ・Bタイプ

配合

Aタイプ: フェノキシエタノール 0.5%
Bタイプ: ブチレングリコール 5%
メチルパラベン 0.15%
エチルパラベン 0.05%

マイクロオーシャンコラーゲンは約4℃の冷蔵所に保管してください。(凍結厳禁)

■規格値(表示名称:加水分解コラーゲン)

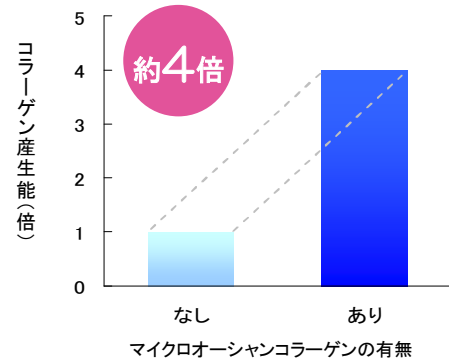
性状	淡黄色～濃褐色の液で、特異なにおいがある
確認試験(1)	加熱により凝固しない
確認試験(2)	紫色を呈する
pH	4.0～9.5
重金属	25ppm以下
ヒ素	2ppm以下
強熱残分	9.0%以下
総窒素	有機固形分に対して 9.5～21.0%
比重	d ₂₀ ²⁰ : 1.000～1.300

●由来生物/サケ(日本産) ●タイプ/ I 型コラーゲン

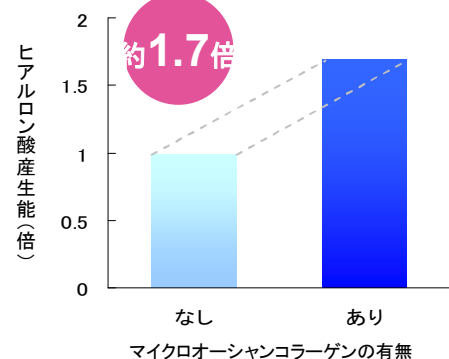
◎微細化加工は、ゼラチンメーカーの開発技術です。また、本資料の記載事項を無断転載・無断転用することを禁じます。

コラーゲンとヒアルロン酸の産生能比較

■コラーゲン



■ヒアルロン酸



コラーゲンとヒアルロン酸を作る真皮層の繊維芽細胞に、マイクロオーシャンコラーゲンの「Gly-X-Y」を加えると、3日後にはコラーゲンが約4倍、24時間後にはヒアルロン酸が約1.7倍に増加されました。

■マイクロオーシャンコラーゲンの安全性試験結果一覧

安全性試験項目	結果
1.マウスにおける単回経口投与毒性試験	陰性
2.ウサギにおける皮膚一次刺激性試験	陰性
3.ウサギにおける皮膚累積刺激性試験	陰性
4.モルモットにおける皮膚感作性試験	陰性
5.モルモットにおける光毒性試験	陰性
6.モルモットにおける光感作性試験	陰性
7.ウサギにおける眼刺激試験	陰性
8.細菌を用いる復帰突然変異試験	陰性
9.哺乳類培養細胞を用いる染色体異常試験	陰性
10.ヒトパッチテスト	陰性

お問い合わせ

 **エアウォーター・ソル株式会社**

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町47番1号 TEL (03)5207-3207 FAX (03)5207-3209